



世界の国から こんにちは!

特集! いろんな国の仲間たち

インタビュー内容

- ① 出身国は?
- ② どう日本を何をしていきますか?
- ③ 君津日本の好きなことについて
- ④ 出身国を誇りに!

津中央公民館60周年記念誌『愛』の作成にあたり、自治会長の方々と座談会を開きました。その中で話題となったのが、「この地域に暮らす外国をルーツにもつかった」です。

また今年度のひこばゆは、この地域とこの地域に暮らす「いろんな国の仲間たち」をテーマに、2号にさっそく今回の号の一面は「世界の国からこんにちは」インタビューです。

発行
君津中央公民館
君津市久保2-13-2
TEL.0439(50)3980
FAX.0439(54)9888

ラメッシュさん
① ネパール
② 木更津で仕事をしています。
③ 富士山が好きです。

ティ・チャンさん
① ベトナム
② モンソレイユで働いて、公民館にもときどき販売に来ています。
③ 美味しいご飯のお店がたくさんあるとこです。
④ 美味しい食べ物や果物、きれいな海が自慢です!

ジャヤニさん
① スリランカ
④ 肉と野菜をもちもちの皮で包んだ「モモ」という食べ物があります。日本の餃子に似ていて、美味しいです。

リーさん
① 台湾
② レーシングエンジンニアをしています。
③ ゴルフが好きなので、たくさんゴルフ場があるのが嬉しいです。
④ 「夜市」です。安くて美味しい食べ物やゲームが楽しめます。

マユリさん(左) ディルクシャさん(右)
① スリランカ
② グループホームで働いています。日本語能力試験に向けて勉強に励んでいます。(マユリさん)
③ 小糸川から見ると富士山の景色が好きです。
④ お祭りのなかに出てくる「ミルクライス」という食べ物があります。

リンさん
① ミャンマー
② アルバイトを二つ掛け持ちしながら学生をしています。
③ 小糸川の橋の下です。寂しい時によく行きます。
④ 「モヒンガー」という美味しい麺料理があります。

タバプラクリティさん
① ネパール
② 家族で飲食店を経営しています。
③ 近くに美味しいラーメン屋さんがあるところです。
④ 「タサイン」というお祭りをとても好きです。きれいな服を着て参加します。

自治会長随想⑨
小香な自治会
大きなつながり
小香自治会長
工川 泰宏

小香自治会は世帯数が18の小さな自治会ですが、年間を通して様々な活動を行っています。全体作業として年に2回道路整備や道路の清掃をし、年末には「小枝切り」と言って、大きく邪魔になる木を切る作業があります。また、イノシン対策のための防獣柵を5キロほど設置していますが、奇数月にはその防獣柵を点検したり壊れていれば補修したりする作業もあります。私自身、今回で自治会長となるのは3回目ですが、その他にも地域の中核的な役割を担っています。例えば三舟の里案内所の管理などです。この時期はちょうど夏の見頃なので、時には蜜の蜜酒に来る人々で案内所が混雑してしまっています。そこで私を含め、蜜酒所の方

また小香自治会では毎月集会を開き、全員が顔を合わせて様々なお知らせや情報交換をしています。5分で終わることもありますが、これの良いコミュニケーションになっていて、道で会えば手をあける関係性が残っています。小さい自治会だからこその人と人とのつながりを大切に、金銭や地域を愛でていくことが重要だと感じます。

【約40年成長し続けているサボテン】

自治会長随想⑩
小糸川を渡るたびに思う
上湯江自治会長
篠田 幸男

朝、小鳥の囀りやキジの鳴き声で目覚める。これが上湯江地区の当たり前の日常です。周囲には田園風景と背に

主権事業のご案内
ボコッ村 2026
緩やかな地域ネットワーク形成事業「ボコッ村」が今年も開村します。こんな時代だから家でなくても、職場でも、ゆるい第3の居場所でも、ゆるく通ってみませんか?

とまり木 おしゃべり会
保護者のための
リラクゼーション
不安を抱え頑張りつづけている保護者の方、少し肩の力を抜いてリラクゼーションの時を過ごしませんか。第一回は、先生をお迎えして家でできるリラクゼーション法を教わり、第2回は、4回目にはぬり絵やクイズを行います。

日本国憲法
書いてみました
日本国憲法全文の書き写しにチャレンジしました。
ボランティアとして協力してくれる高校生と一緒に夏休みの自由研究に取り組みませんか。何歳でも、字が苦手でも大丈夫です!お気軽にお申し込みください。

区は市街地調整区域のため、日々の生活の中で病院、駅、市役所、大型スーパーの買い物などはほとんどが小糸川を渡って利用しています。

昔からの住民が多く、数年前までは極端な人口の増減も見られず少子高齢化が徐々に影響してきています。秋の大祭も若い世代の減少で縮小を余儀なくされています。その中で近年は新興住宅がでてきて人口が増え、小学校の全校生徒も300人を超えてきました。未来を担う子どもたちに住みやすい環境を提供することも大人の責任として受け止めています。ただ、当地

新職員紹介
4月から君津中央公民館へ転入してきた職員をご紹介します。

【主任主事】 鹿島 伊代
【館長】 笹本 和男

4月より新館長に就任いたしました。皆様と笑顔あふれる公民館を築いてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

編集後記
取材をとおして、この地域にはいろいろな人がともに暮らしているのを感じ、様々な支え合いがあることを改めて実感しました。一人ひとりと違っているが、みんなが暮らしている地域への第一歩なのかもしれません。(平)

今、私たちにできること

先日、小糸川沿いを歩いてみると、何本もの太い木が重機で持ち上げられている光景が目にとまりました。業者の方にお話をうかがうと、小糸川の環境整備のため、木の伐採作業をしているとのことでした。



伐採した木の回収作業

作業中に回収されたごみは、多い時でなんとトントン以上。その中には、洗濯機などの本来川には入らないものも多く含まれていました。川に捨てられたごみは水の流れを妨げ、



その日の作業だけで出てきたごみ

大雨の際には水害の原因となる恐れもあります。身近な行動が地域を守るきれいな川は地域の大切な財産です。一人ひとりの「ごみを捨てない」「見つけたごみを拾う」という意識が、このまちを守る第一歩となります。ちようど歩いた時間は、6月の環境月間です。これをきっかけに、みなさんもごみの問題について考えてみてくださいませんか？



あなたも地域の応援団に！ 広がる「コミッスみなみ」の輪

コミッスみなみ(周西南中学校区地域学校協働本部)は、周西南小学校と周西南中学校で進めてきたコミュニティ・スクールの取組から生まれた組織です。子どもをまんなかに学校・家庭・地域がゆるやかにつながり、子どもたちの成長を願って、様々な活動を進めています。これまで学校や地域団体PTAなどが子どもたちのために様々な活動を行ってきましたが、担い手不足や活動の重複など共通の課題も抱えていました。

そこで令和7年度に関係者による協議を重ね、学校と地域の連携をさらに深める中心組織として、周西南中学校区地域学校協働本部を新たな形に整えました。新たな愛称を「コミッスみなみ」、マスコットキャラクターを「みなみん」とし、より地域に親しまれる組織づくりを進めています。

◆生徒と地域がふれあうコミッスケー

その最初の取組として、「コミッスケー」を5月1日に開催し、「授業参観」「ふれあいセッション」「地域懇談会」に取り組みました。

特に印象的だった「ふれあいセッション」では、地域団体に関するクイズや活動紹介を行い、生徒が地域を支える方々の役割や思いに触れる機会となりました。



地域の方の活動紹介に真剣に耳を傾ける生徒

◆あなたもサポーターになりませんか？

コミッスみなみでは、LINEで気軽につながる「ゆるさぽ」などを通じて、子どもたちの育ちを支える仲間を広げています。あなたも、地域で子どもたちを育む輪に参加してみませんか。



周西南中学校コミュニティスクール コミッスみなみ

「ゆるさぽ」はこちらから登録できます

第62回 君津中央公民館文化祭 実行委員会始動！

6月26日に第62回の文化祭実行委員会が開催されました。今年度の文化祭は、10月31日(土)の2日間で開催予定です。開催日にもちみ、特別企画のテーマは「ハロウィン」！実行委員長の司馬さんを中心に、大人も子どもも楽しめる企画を検討中です。

現在、企画運営メンバー大募集！みなさんで一緒に文化祭を盛り上げましょう！



準備中！文化祭の準備中！

周西南中学校区 20歳のつどい開催のお知らせ

今年度から20歳のつどい対象者全員への案内文の発送は行われ、事前に申し込みました方にのみ案内通知をする方法へ変更となりました。参加を希望される方は、忘れずにお申し込みください。申し込み・詳細は、市のホームページをご確認ください。

日時…令和9年10月10日(日)
場所…生涯学習交流センター(君津中央公民館)
対象…平成19年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた方

企画・運営に携わる実行委員を募集しています。ご興味のある方は公民館までご連絡ください。

申込みは！こちら！



10月1日から公民館の休館日、開館時間が変わります

①毎週火曜日が休館となります。
(祝日・年末年始は引き続き休館です)
②閉館時間が22時から21時へ変わります。
(日曜日は引き続き17時閉館です)
③1週間前までに予約がない場合は、17時に閉館します。

世界の国からこんにちは！ 世界と地域をつなぐ場所

このまちには、外国をルーツに持つ人や日本での暮らしと文化を学ぶ留学生たちが、様々な人と出会い、交流する場所があります。そこで今回は、その拠点となる二つの施設にお邪魔してきました。それぞれの取り組みや交流の様子をレポートします。

① レポート

君津市国際交流協会(通称…KIES)

君津市国際交流協会(通称KIES)では、語学教室のほか、文化交流イベントや君津市民ふれあい祭りへの参加など、年間を通じて様々な活動を行っています。とくに日本語教室には、くさんの外国人が通っており、座学だけでなく、作文発表会や習字の体験などを通じて交流を深めています。日本語教室では、先生が全員ボランティアで、とくに印象的だったのは先生と生徒の距離の近さでした。授業中はもちろん、授業終了後も楽しく世間話をしたり、一緒に駐車場まで行ったりとまるでお友達のような雰囲気を感じました。

② レポート

つばさインターナショナル・アカデミー

つばさインターナショナル・アカデミーは、大学進学や日本企業への就職を目指すため、日本語や日本文化を学び、日本の生活技術を習得することを目的とした学校です。学校の近くには寮があり、学生たちは日本の生活スタイルや地域のルールも日々学んでいます。教務主任の伊藤さんにお話をうかがったところ、寮生活の中でも苦勞するのはごみ出しのことでした。母国ではごみを細かく分別したり、決まった曜日にゴミを出したりするというのは習慣がない地域も多く、頭では理解していても長年の習慣との違いから行動にうまく結びつかないこともあったとのこと。それでも学校では、学生が地域の一員として生活しているという根拠強く指導をしているそうです。昔は、言葉の壁から外国人を受け入れてくれるアルバイト先探しにも困ったそうです。しかし、真面目に働く姿が徐々に評価され、今は店舗側から学校側へ「アルバイトを探している生徒はいませんか？」と問い合わせが入るそうです。その背景には、先輩たちが



【授業中のひとコマ】一生懸命日本語を話す生徒

事務局長の石川さんは、「昔は外国人とどう関わればよいのか分からず、距離を置いてしまいう人も多くいました。そんな中でもKIESの活動は、人と人とのつながりを育み、多様な人が同じ地域でともに暮らすための一助となってきました。『外国人にとっての公民館になれたら』そんな思いから多くのボランティアと活動を続けてきたKIES。それが少しずつ形となり、今では多様な人々にとってとても大切な居場所となっています」と話します。

日本語教室

火曜日 13:30~15:30
水曜日 19:00~21:00
土曜日 10:00~12:00

ボランティアの先生募集中！
ご興味のある方はKIES事務所へお問い合わせください
TEL: 0439-54-9877



【授業中のひとコマ】集中して試験勉強！

国内からもこんにちは！ 多様な人が暮らすこのまちで

国外だけでなく、国内からこの地域へやってきた方もいます。東京から移住し、三舟山の麓で農業を営む宮本 雅之さんにお話を伺いました。

Q1 なぜ君津に移住し、農業を始めたのですか？
A1 今作っている小糸在来の大豆を東京でたまたま食べる機会があったんです。白米と大豆を炊き合わせただけのシンプルなものがでしたが、それがめちゃくちゃ美味しくて、小糸在来のふるさとの君津で就農を決めました。

Q2 育てている野菜のこだわりを教えてください。
A2 今収穫しているにんじんは「三舟山のにんじん」という名前前で販売しています。三舟山という名前が気に入って、三舟の名前が有名になったらいいなと思いついたんです。

Q3 新しく挑戦したいことはありますか？
A3 多様な人が暮らす地域で、関係性を築くために大切なことはなんですか？
A3 私は食べることが好きなんです。「食文化を共有する」ということは一つあるんじゃないかと思っています。例えば、豆づくしを限定せず、世界中で広く食べられていると私は思っています。こんなにも美味しい豆があるんです。それが相互理解のきっかけになるんじゃないかなと思います。

Q4 多様な人が暮らす地域で、関係性を築くために大切なことはなんですか？
A4 つい最近、JAの生産部会で小糸在来公式ファンクラブというメールマガジンを始めました。実は地元では、味噌用の大豆というファンがたくさんいらつしやるんです。そういう根付いた味噌づくしの文化や枝豆の総合力をもっと対外的に知っていただきたいという思いもあって始めました。



宮本 雅之さん